

(公表資料)

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業
「クリエイター・アーティスト等育成事業(文化芸術活動基盤強化基金)」
採択先の決定について

令和6年6月25日
独立行政法人 日本芸術文化振興会

文化芸術活動基盤強化基金は、国からの補助金により、次代を担うクリエイター・アーティスト等を育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を弾力的かつ複数年度にわたって支援するために、独立行政法人日本芸術文化振興会に新たに設置された基金です。

このたび、独立行政法人日本芸術文化振興会では、本基金による事業のうち、海外で活躍が期待される若手クリエイター・アーティスト等に対し、発掘から育成、制作、海外展開までの一体的な活動を、5年程度の活動目的の下で3年程度弾力的かつ継続的に支援を行うことを目的とする「クリエイター・アーティスト等育成事業」の採択先について、審査委員会における審査を経て、別添のとおり決定しました。

なお、「文化施設による高付加価値化機能強化支援事業」の審査結果については、後日お知らせいたします。

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業
「クリエイター・アーティスト等育成事業
(文化芸術活動基盤強化基金)」採択先の決定について

独立行政法人 日本芸術文化振興会

**クリエイター・アーティスト等育成事業
 (文化芸術活動基盤強化基金)
 審査結果集計表**

分野		委託型		補助型		合計	
		応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
舞台芸術	音楽	-	-	13	4	13	4
	舞踊	-	-	12	3	12	3
	演劇	-	-	37	5	37	5
	伝統芸能・大衆芸能	-	-	10	3	10	3
	舞台芸術等	2	1	-	-	2	1
メディア芸術 (マンガ、ゲーム、メディアアート、アニメーション、映画)		6	6	18	1	24	7
現代アート		2	1	7	1	9	2
分野横断の新領域		-	-	13	4	13	4
計		10	8	110	21	120	29

クリエイター・アーティスト等育成事業
(文化芸術活動基盤強化基金)

採択一覧

分野	プロジェクト名	団体名	採択額 (千円)	
音楽 (オーケストラ、オペラ、 ポピュラーミュージック等)	国際音楽祭での新作初演と新作オペラ『北斎』の国際共同制作を通じた若手育成	株式会社KAJIMOTO	300,000 (補助型)	
	アーティストの好循環を創り出す～大規模国際共同制作を通じた輸出型プロモーションの試み～	公益財団法人東京二期会	100,000 (補助型)	
	ニコニコ動画主催企画を介した若手クリエイター発掘および海外進出プロジェクト	株式会社ドワンゴ	220,000 (補助型)	
	欧州公演ツアーを通じたオーケストラの次世代担い手育成プロジェクト	公益財団法人読売日本交響楽団	100,000 (補助型)	
	舞踊 (バレエ、現代舞踊等)	新国立劇場バレエ団2025年ロンドン公演実施プロジェクト	公益財団法人新国立劇場運営財団	110,000 (補助型)
		Dance Base Yokohamaクリエイター育成プロジェクト	一般財団法人セガサミー文化芸術財団	90,000 (補助型)
		次世代の国際スター創出および世界五大バレエ団達成プロジェクト	公益財団法人日本舞台芸術振興会(東京バレエ団)	150,000 (補助型)
	演劇 (現代演劇、ミュージカル等)	KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭をプラットフォームとした次代のクリエイター育成事業	一般社団法人KYOTO EXPERIMENT	90,000 (補助型)
		JAPAN Performing Arts Progress(日本舞台芸術プロGRESS)(仮称)	一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク	170,000 (補助型)
		世界を現場にする次代クリエイターの育成プロジェクト	株式会社サイ	80,000 (補助型)
		次世代の国際共同制作・海外ツアー促進プロジェクト	株式会社precog	170,000 (補助型)
		世界のショービジネス界で飛躍するクリエイター育成プロジェクト	株式会社ホリプロ	170,000 (補助型)
伝統芸能・大衆芸能 (歌舞伎、文楽、邦楽等)	歌舞伎公演	松竹株式会社	300,000 (補助型)	
	日本音楽の魅力発信プロジェクトー和の文化活動を通じた若手育成ー	特定非営利活動法人日本音楽国際交流会	110,000 (補助型)	
	世界で高い評価を得られる文楽・技芸員(アーティスト)育成プロジェクト	公益財団法人文楽協会	130,000 (補助型)	
舞台芸術等	クリエイター等育成プログラム(舞台芸術等)	公益社団法人全国公立文化施設協会	94,000 (委託型)	
メディア芸術 (マンガ、ゲーム、メディアアート、 アニメーション、映画)	グローバル・アニメ・チャレンジ(アニメ)	株式会社キネマシトラス	230,000 (補助型)	
	クリエイター等育成プログラム(マンガ)	一般財団法人出版文化産業振興財団	178,000 (委託型)	
	クリエイター等育成プログラム(ゲーム)	一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会	178,000 (委託型)	
	クリエイター等育成プログラム(メディアアート)	公益財団法人画像情報教育振興協会	178,000 (委託型)	
	クリエイター等育成プログラム(短編アニメーション)	公益財団法人画像情報教育振興協会	168,000 (委託型)	
	クリエイター等育成プログラム 映画(実写)	公益財団法人ユニジャパン	180,000 (委託型)	
	クリエイター等育成プログラム 映画(アニメーション)	公益財団法人ユニジャパン	100,000 (委託型)	
現代アート	T3: PHOTO FESTIVAL TOKYO / PHOTO ASIA / NEW TALENT	一般社団法人TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY	100,000 (補助型)	
	クリエイター等育成プログラム(現代アート)	独立行政法人国立美術館	178,000 (委託型)	
分野横断的新領域(※) ※分野(メディア芸術、現代アート、 舞台等)を横断または革新しグローバルな訴求力を高める等の創意工夫を行ったもの	オペラ「Super Angels」、海外展開に向けた新シリーズの制作	アタック・トーキョー株式会社	200,000 (補助型)	
	渋谷・京都を拠点に「GAME/遊び」を起点としたクリエイションとグローバルネットワークを形成する404 Not Found・art bit連携プロジェクト「ars●bit(仮称)」	一般社団法人渋谷あそびば制作委員会	110,000 (補助型)	
	「Kogei」アーティスト育成グローバル展開プロジェクト	認定NPO法人趣都金澤	200,000 (補助型)	
	日本文化を包括するプレゼンテーション・プラットフォーム『シン茶事』	株式会社スクリーム・ラウダア	100,000 (補助型)	

文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター・アーティスト等育成事業」
の審査方法等について

1 クリエイター等育成プログラム（委託型）

（1）審査の方法等

学識経験者等で構成される「クリエイター・アーティスト等育成事業審査委員会」において、企画提案要領等で定められた趣旨・要件等を踏まえ、審査要領に基づき、応募のあった企画について専門的立場から以下のとおり審査を行った。

・団体から提出された企画提案書について、本委員会の委員が以下の「（2）評価項目」の項目ごとに5段階で書面審査を行う。

大変優れている＝10点 優れている＝8点 普通＝6点 やや劣っている＝4点 劣っている＝2点

・委員による書面審査の結果をもとに、合議により総合的に審査を行い、「採択」または「不採択」の評定を行う。

（2）評価項目

【①組織・体制について】

ア 海外におけるフェスティバル・展示会等への派遣・出品等支援、海外美術館等との共同・連携事業、クリエイター等の人材育成に関する知見やノウハウを有していること

イ 海外のフェスティバル等の運営事務局や分野毎に必要なコーディネーター・専門家等の、業務実施に有益な人的ネットワークを有していること

ウ 海外との交渉を行うことに支障がないよう、適切な人材等を配置していること

エ 組織運営体制が確立されており、業務を実施する上で適切な財務基盤を有し、財務や活動環境が透明かつ適正であること

【②業務計画内容について】

オ クリエイター等の持続的な海外展開に向けて必要な事項が検討されており、グローバルに活躍する人材の育成や海外展開に資する効果的な業務計画となっていること

カ 育成対象者の選定に係る計画及び体制が明確かつ適正であり、選定される育成対象者が今後国際的に活躍することが期待できること

キ 育成対象者のサポートを行うアドバイザー等の選定に係る計画又は体制等が適切であり、当該アドバイザー等に高い専門性が期待できること

ク 国内外の関係者・団体等との連携・協力体制が十分であり、育成方法及び内容が適切かつ効果的であると認められること

ケ 広く育成対象者以外のクリエイター等に対し、今後の国際的な活躍に資する知識・ノウハウ等を普及する効果的な取り組みが計画されていること

コ 本業務で得られたノウハウやネットワークを活用し、本業務完了後も継続的に、当該分野においてグローバルに活躍する人材の育成や海外展開に貢献することが期待できること

サ 育成プログラムの実施に当たり効果的な広報やプロモーション・マーケ

ティング、及び分析等が計画されていること。
シ 経費予定額の積算内容が適切であること

2 クリエイター等育成プロジェクト支援（補助型）

（1）審査の方法等

芸術文化振興基金運営委員会の下に設置した「クリエイター等育成部会」において、募集案内等で定められた趣旨・要件等を踏まえ以下のとおり調査審議の方法等を決定し、審査を付託された活動について専門的立場から調査審議を行った。

・団体から提出された助成金交付要望書について、本部会の委員が「（2）審査基準」の項目ごとに5段階で書面審査を行う。
大変優れている＝10点 優れている＝8点 普通＝6点 やや劣っている＝4点 劣っている＝2点

・委員による書面審査の結果をもとに、合議により総合的に審査を行い、「採択」または「不採択」の評定を行う。

（2）審査基準

<舞台芸術、メディア芸術、現代アート>

【組織・体制について】

ア 過去の事業実績が国内外から高い評価を受けており、今後も当該分野や文化芸術界を牽引することが期待できる団体であること

※新規に創設された法人等については、当該法人等の前身となる団体等による事業実績も含むものとします。

イ 組織運営体制が確立されており、財務や活動環境が透明かつ適正であること

【計画内容について】

（基礎的事項）

ウ プロジェクトの趣旨・目的や計画構想、成果目標値の設定が明確かつ適切であり、グローバルに活躍する人材の育成や海外展開に資するものであること

エ 国際的なネットワークを有しており、海外との交渉やプロモーション等にあたり必要となるノウハウや人材を有していること

オ 国内外の批評家、専門家等の招聘・派遣などにより評価を得ることが計画されていること

カ 事業の規模や収入等に照らし、予算規模が適切であること

（育成計画）

キ 起用する若手クリエイター等（育成対象者）の選定の方法・基準（理由）・選考者等が明確かつ適正であり、国際的に活躍することが期待できること

ク 指導者等に当該分野において国際的な実績や高い専門性が認められること

ケ 国内外の関係者・団体等との連携・協力体制が十分であり、育成方法が効果的であると認められること

(公演・展示等計画)

- コ 公演・展示等の内容が、若手クリエイター等の育成に資するものであること
- サ 公演・展示等の内容が、海外のニーズを踏まえた高度な芸術性・創造性・新規性を有することが期待できること
- シ 海外に広く開かれ、多くの観客の参加により行われる公演・展示等が計画されていること
- ス 公演・展示等の実施にあたり、ターゲットを明確に設定し、若手クリエイター等の育成や海外展開に効果的な広報やマーケティング・プロモーション・分析等が計画されていること

【社会性・経済性・発展性について】

- セ 本事業で得られたノウハウやネットワークを活用し、本事業終了後も継続的に、当該分野においてグローバルに活躍する人材の育成や海外展開に貢献することが期待できること
- ソ 若手クリエイター等の国際的な活躍により、我が国の文化芸術の評価や国際的プレゼンスの向上、文化芸術を通じた相互理解の促進、コンテンツ市場の拡大等につながることを期待できること

<分野横断的新領域>

【組織・体制について】

- ア 過去の事業実績が国内外から高い評価を受けており、今後も新たな創意工夫に富む分野の横断や革新を通して、若手クリエイター等のグローバルな訴求力を高めることが期待できる団体であること
- ※新規に創設された法人等については、当該法人等の前身となる団体等による事業実績も含むものとします。
- イ 組織運営体制が確立されており、財務や活動環境が透明かつ適正であること

【計画内容について】

(基礎的事項)

- ウ プロジェクトの趣旨・目的や計画構想が斬新かつ明確であり、適切な成果目標値の設定を伴い、グローバルに活躍する人材の育成や海外展開に資するものであること
- エ 国際的なネットワークを有しており、海外との交渉等にあたり必要となるノウハウや人材を有していること
- オ 事業の規模や収入等に照らし、予算規模が適切であること

(育成・海外展開計画)

- カ 起用する若手クリエイター等の選定理由が明確かつ適正であり、国際的に活躍することが期待できること
- キ プロデューサー等に国際的な実績や高い専門性、斬新な企画を生み出す創造性が認められること
- ク 国内外の関係者・団体等との連携・協力体制が十分であり、若手クリエイター等の海外展開方法が効果的であると認められること

(公演・展示等計画)

- ケ 公演・展示等の内容が、斬新かつ高度な芸術性・創造性を有することが

期待できること

- コ 公演・展示等の内容が、若手クリエイター等のグローバルな訴求力を高めるとともに評価の向上に資することが期待できること
- サ 公演・展示等の実施にあたり、若手クリエイター等の育成や海外展開に効果的な広報やマーケティング等が採用されていること

【社会性・経済性・発展性について】

- シ 本事業で得られたノウハウやネットワークを活用し、本事業終了後も継続的に、当該分野においてグローバルに活躍する人材の育成や海外展開に貢献することが期待できること
- ス 若手クリエイター等の国際的な活躍及び新たな分野の横断や革新により、我が国の文化芸術の評価や国際的プレゼンスの向上、文化芸術を通じた相互理解の促進、コンテンツ市場の拡大等につながることを期待できること

クリエイター・アーティスト等育成事業審査委員会委員名簿
クリエイター等育成プログラム（委託型）

委員長	岡本美津子	（東京藝術大学副学長／大学院映像研究科教授）
	井上明人	（立命館大学映像学部准教授）
	施井泰平	（スタートバーン株式会社代表取締役）
	塩川泰子	（三村小松法律事務所 弁護士／NY州弁護士）
	柴辻純子	（音楽評論家）
	久野敦子	（公益財団法人セゾン文化財団常務理事）
	伏谷博之	（タイムアウト東京代表）
	藤本幸三	（アーティストック・ダイレクター）
	細萱敦	（東京工芸大学芸術学部マンガ学科教授）
	森田菜絵	（企画・プロデューサー／株式会社マアルト代表取締役）
	山下宏洋	（イメージフォーラム・フェスティバル ディレクター）

芸術文化振興基金運営委員会委員名簿
クリエイター等育成プロジェクト支援（補助型）

○運営委員会

委員長	中村孝義
委員長代理	衛紀生
委員長代理	三好勝則
	猪崎弥生
	柏原寛司
	児玉竜一
	後藤治
	小松弥生
	齊藤孝正
	新藤次郎
	西川信廣
	野平一郎
	福島明夫
	森西真弓
	山脇晴子

○部 会

クリエイター等育成部会

部会長	三好勝則	◎	（香川大学客員教授／前公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京機構長）
部会長代理	猪崎弥生	◎	（ビューティ&ウェルネス専門職大学副学長／お茶の水女子大学名誉教授）
	施井泰平		（スタートバーン株式会社代表取締役）
	塩川泰子		（三村小松法律事務所 弁護士／NY州弁護士）
	柴辻純子		（音楽評論家）
	谷垣内和子		（邦楽研究・評論家／元（公社）日本芸能実演家団体協議会・実演芸術振興部企画室長）
	久野敦子		（公益財団法人セゾン文化財団常務理事）
	伏谷博之		（タイムアウト東京代表）
	藤本幸三		（アーティスティック・ダイレクター）
	細萱敦		（東京工芸大学芸術学部マンガ学科教授）
	牧野友衛		（一般社団法人メタ観光推進機構 代表理事）
	山下宏洋		（イメージフォーラム・フェスティバル ディレクター）

◎運営委員会運営委員

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業

令和5年度補正予算額

60億円



- 日本には 1.2億人の市場があり、リスクを取って海外に打って出るインセンティブが生じにくいが、人口減少の中、このままでは高い成長潜在力を持つ コンテンツ市場の衰退の危機。
- 我が国の文化芸術の 海外展開を視野に入れた若手クリエイターやアーティスト等の挑戦支援、育成体制を強化するとともに、国内活動拠点として博物館・美術館、劇場等の文化施設が 新たな価値を付加できるよう機能強化し、若手クリエイター等を支える場として確立することが急務。

事業内容

次代を担うクリエイター・アーティスト等を育成するとともに、その活躍・発信の場でもある文化施設の次世代型の機能強化を、独立行政法人日本芸術文化振興会に設置する基金を活用して弾力的かつ複数年度にわたって支援する。

◆ クリエイター・アーティスト等育成支援

- 2023年3月、岸田総理は、「広い意味での日本の誇るべきクリエイターへの支援を検討」することを表明。クリエイター等の挑戦を後押しするためには、企画から制作、国内外での展開まで一貫通貫した支援が重要。
- 新たな芸術の創造など我が国の芸術活動全体の活性化を促すとともに、コンテンツ産業の競争力強化に資するため、新たなビジネス展開も視野に クリエイター等を対象とした総合的な人材育成支援を行う。

世界に誇る我が国のマンガ、アニメ、音楽、現代アート、伝統芸能等をはじめとする次代を担うクリエイター等による作品や公演の企画・交渉・制作・発表・海外展開までの一体的な活動を、5年程度の活動目的の下で、3年程度弾力的かつ継続的に支援。（3年・45億）

【事業例】

- 国内外で活躍が期待される国際コンクール受賞者や、若手演奏家、実演家、脚本家、作曲・作詞家、プロデューサー等を起用し、世界的な活動実績を有する指導者等が若手を現場で育成しながら海外公演等の海外展開を行うプロジェクトを支援。国内外の主要な音楽祭や劇場等で活躍する人材を育成。
- 創作支援プログラムで育成した若手クリエイター等を対象に、海外での活躍実績等がある専門家等が、海外展開に向けたアドバイス、ノウハウの共有等のサポートを実施し、海外アートフェスティバル等へ出品・展示を支援。グローバルに活躍できる人材を育成。

◆ 文化施設による高付加価値化機能強化支援

- 博物館・美術館、劇場等の文化施設について、グローバルに通用するクリエイター・アーティスト等の育成の一環として、当該 クリエイター・アーティスト等の（国内における）活動の拠点かつ活動に対して新たな高い価値を付加する拠点としての機能を形成することを推進する。
- また、こうしたクリエイター・アーティスト等が生み出す作品を含めて、施設が持つ価値（コンテンツ）をデジタル・アーカイブ化等も行いつつ、世界に強力に発信し、価値を高めるとともに、そうした価値に受け手を惹きつけるための支援を行う。

次代を担うクリエイター・アーティスト等の国内における活動・発信拠点となるべく文化施設における発信力の強化（デジタル・アーカイブ化含む）、新たな高い価値を文化芸術活動に付加する取組について、5年程度の活動目的の下で、3年程度弾力的かつ継続的に支援。（3年・15億）

【事業例】

- クリエイター等の作品や関連資料等のデジタル・アーカイブ化
- デジタルコンテンツ活用やクリエイター等自身のパフォーマンス等による展覧会や公演含め施設の運営・機能強化
- デジタルコンテンツ活用型やクリエイター等自身のパフォーマンス等によるグローバルな発信等の支援

（担当：参事官（芸術文化担当）付、文化経済・国際課、企画調整課）

クリエイター・アーティスト支援と海外展開の戦略全体構想

我が国の文化芸術の芸術性・創造性の向上

海外市場でのビジネス展開へ

グローバルな評価形成

価値付け

連携

経済産業省

外務省

CBX (Cultural Business Transformation) の観点から、文化庁が国内で育成支援した海外で活躍が期待される若手クリエイター・アーティストなどを戦略的に選抜。世界で高い評価を得ることを目標とする。

グローバルに活躍する人材の輩出

クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業(基金)

文化庁人材育成事業

メディア芸術人材育成事業

新進芸術家の海外研修

「土壌」づくり

若手映画作家等育成

芸術家等人材育成(舞台芸術)

海外展開の方向性（クリエイター・アーティスト等育成支援関係）

海外のニーズを踏まえた 展開における若手育成

- 海外のニーズを踏まえた新作・新制作・演出等における若手登用（実演家、作曲家、脚本家、演出家、プロデューサー等の育成）
- ターゲットを設定した交渉・プロモーション・分析（ネット含む）（コーディネーター、スタッフ等海外との交渉担当者等の育成）

世界的認知度が高い場 での展開・評価

- 世界的な音楽祭・芸術祭、劇場・音楽堂等との交渉による公演・展示活動の実現
- 海外・国内の批評家、専門家等の招聘・派遣による高評価獲得（当該分野の専門家・批評家、代表的なメディア等の招聘）

戦略的な海外展開 ネットワーク形成 ・人脈づくり

- 現地の人脈を生かしたプロモーション、要人等招聘（外務省、国際交流基金、JETRO等へ協力依頼。現地の邦人・企業関係者ネットワークの活用）
- ショーケース・ワークショップ等に文化担当関係者（在外・在京大使館・記者等）などを通じた事業提携・人材交流・拠点形成などへ

各分野の海外ニーズの特性・状況を踏まえた展開が必須